

図 1-8 [参考資料]わなの設置場所（香川県 H）

（４） 囲いわなの構造

本事業でモデルとした EN-TRAP は、遠藤ら（2000）が袋網製わなを改良して制作した機動性と安全性を兼ね備えたわなである。安価で入手しやすい市販の材料を用いた利便性の高いわなであるが、キットとして販売されているわけではないので、同一または類似の部品を購入して組み立てる必要がある。22 年度事業では、中型囲いわなの側面に防鹿ネットを用い、資材の軽量化が図られたが、わな全体の強度が不十分なものであり、改善すべき点がいくつか挙げられた。本年度事業では 22 年度事業の課題と、本年度事業の実施過程で生じた課題を解決するために、複数の項目について改善を行った。表 1-2 に改善項目を列挙した。

それぞれのわなの具体的な構造は以下の通りである。なお、先に述べたように、わなの構造図・写真は別添のマニュアルと写真資料で示した。

1) 中型囲いわな

中型囲いわなは、長辺約 4,200mm、短辺約 2,100mm、高さ約 2,100mm の箱型の構造をなすもので、ゲート部はネットを地上部から引き上げる方式と情報から落下させる方式を併用した。

トリガーも 2 つの方式を併用した。一つは、囲いわなの中央付近に仕掛けた糸（ナイロン糸など）にシカが接触すると、板バネ式ねずみ捕り器のバネが弾かれ、ゲート

を引き上げるための土嚢(重り)が落下する仕組みである。もう一つは非接触型の赤外線トリガーで、センサーがシカの存在を感知し、わなを作動させる。

この構造の囲いわなは、徳島県・愛媛県・高知県で設置された。

2) 大型囲いわな

大型囲いわなは、一辺約4,800mm、高さ約2,100mmの箱型をなすもので、中型囲いわなと同様の構造をもつゲートを1箇所設けたものである。トリガーは赤外線トリガーを用いた。

この構造の囲いわなは香川県で設置され、誘引時にはデコイを併設し、誘引後半には自動給餌器を導入した。

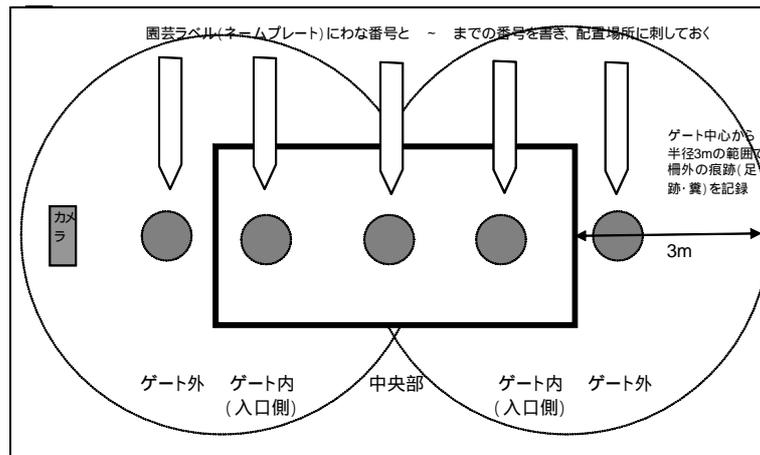
表 1-2 囲いわなの構造上の課題と改善点

部 位	22年度事業の課題	改善内容
ネットとフレームの固定部分	防鹿ネットを留めるロックタイがやや脆弱であり、シカの捕獲時に断裂する可能性あり。	ロックタイをロープ・針金に変えて強度を増した。
ステンレス入りポリネット (中型囲いわな側面)	青色の防鹿ネット(ステンレス入りポリネット)を用いた。ネットの色彩が林内で目立つことと、ネットそのものの脆弱さが課題となった。	・ネットを金属製のワイヤーメッシュに交換した。 ・ワイヤーメッシュの色は暗色で、目立たないものとなった。
引き上げ式ゲートのロック機構	ゲートにロックがなく、捕獲個体が体重をかけるとゲートが下がりがり、逃走するおそれがあった。	ゲートが上がったところで、ロックされる仕組みを作った
デコイ (シカのイミテーション)	シカを誘引する手段が誘引餌のみで、他の方法も検討する必要があった。	大型囲いわなで導入した。

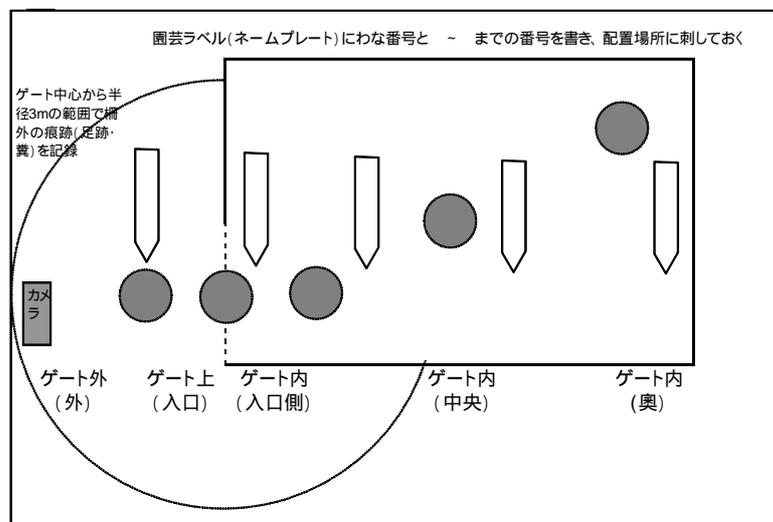
部 位	本年度事業で見つかった課題	改善内容
引き上げ式ゲートの地上部分のネット	警戒心の高いシカはゲートに入らない	中型囲いわなのうち、3台を落下式ゲートに変更した
自動給餌器	誘引餌が時間の経過とともに劣化して誘引の効果が低下した。	大型囲いわなで導入した。

分間休止後に再び撮影待機に入るよう設定した。

シカの誘引状況は、地元協力者に採食状況確認による記録を依頼した。協力者の作業内容は、これに加え、誘引餌の補給と劣化した餌の除去、周辺にシカの痕跡（足跡・糞等）が確認された場合の記録をお願いした。



誘引開始時は、を均等に撒く
 捕獲時は、を多量として、を少量とする(は撒かないか、ごく微量とする)



誘引開始時は、を均等に撒く
 捕獲時は、を多量として、を少量とする(は撒かないか、ごく微量とする)

図 1-9 誘引餌の配置

(上図：中型囲いわな・下図：大型囲いわな)

(6) 捕獲状況の記録

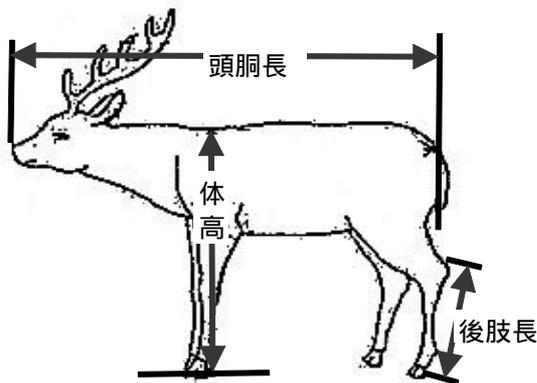
原則として 12 週間の誘引後に囲いわなをセット状態として捕獲待機の状態に移った。捕獲待機期間には協力者に毎日の見回り、捕獲確認時のシカのとめさし（錯誤捕獲があった場合は放獣等の適切な処置）、殺処分した個体の処置および捕獲個体記録の記入を依頼した。捕獲個体記録は図 1-10 の様式（捕獲個体計記録票）に従うものとした。

捕獲個体計測記録票

No.

捕獲個体に番号をつけてください

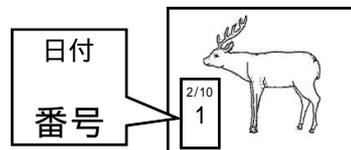
1. 捕獲年月日 : 平成 年 月 日 (時 分)
2. 捕獲地 : 県 わな番号 :
3. 捕獲従事者 :
4. 性別 : オス ・ メス (どちらかに を付けて下さい)
5. 体重 : _____ kg (全重量 ・ 内臓抜き重量 : どちらかに)
6. 頭胴長 : _____ cm
7. 体高 : _____ cm
8. 後肢長 : _____ cm



- 9 : 年齢 : 該当するものに を付けて下さい
 - ・ 幼獣 (多くは20kg以下で、歯は乳歯です)
 - ・ 亜成獣 (多くは20kg ~ 30kgで、歯は永久歯です。オスは1本角です)
 - ・ 成獣 (多くは30kg以上です。)
- 10 : 妊娠の状況 : (有 ・ 無 ・ 不明) 該当するものに を付けてください
 確認の方法 : 乳汁の分泌 (有 ・ 無 ・ 不明)
 胎児 (有 ・ 無 ・ 不明)
 胎児の性 (オス ・ メス ・ 不明)
- 11 . 角の状態 : 該当するものに を付けて下さい



- 12: 写真の撮影 : 20cm × 20cmほどの紙 (段ボール紙など) に日付とこの調査票と同じ番号を記入し、シカの全身と一緒に撮影してください。



1個体ずつの写真のほかの一つの欄で捕獲された個体を並べた写真も撮影してください

図 1-10 捕獲個体計測記録票の様式